



つなげる健康、つながる笑顔。

2026 Autumn

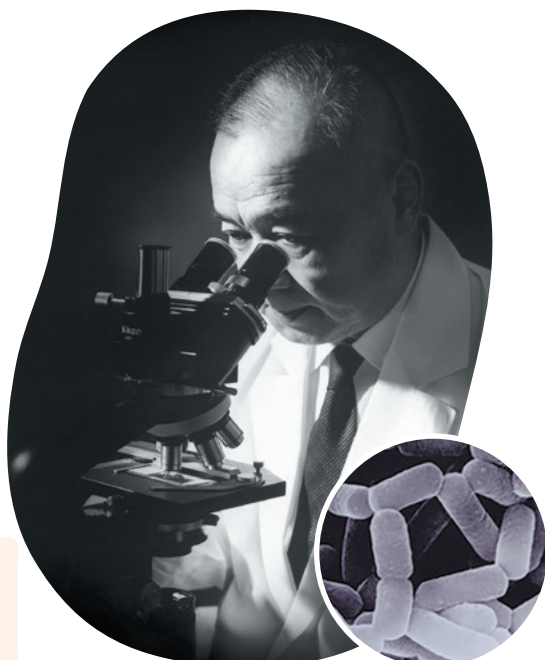
神戸ヤクルト通信

秋号
VOL. 75

腸は消化管としてのほたらきだけでなく、体を守るはたらきの最前線でもあります。代田稔が注目した「腸」と「腸内細菌」は、腸管の疾病にとどまらず、がんなどの生活習慣病や精神面にも影響があることが明らかにされています。

世界の人の健康を 守りたい

HEALTH



“ヤクルトの父”代田 稔

乳酸菌 シロタ株

ヤクルトの誕生

ヤクルトのはじまりは約90年前。当時の日本では赤痢やチフスといった疫病が流行していました。京都帝国大学で医学を学んでいた“ヤクルトの父”代田稔は、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物の研究を開始。

腸の中の悪い菌を抑える乳酸菌のはたらきに注目した代田稔は、乳酸菌の強化・培養に成功しました。これが今日の「乳酸菌シロタ株」です。その後、一人でも多くの人に「乳酸菌シロタ株」をおいしく摂取してもらおうと



代田保護菌普及会の様子

考え、生まれたのが「ヤクルト」です。

1940年には現在のヤクルト販売組織の元となる「代田保護菌普及会」が各地に誕生。「誰もが手に入れられる価格で健康を」をスローガンに掲げ、西日本を中心にヤクルトを広めていきました。戦争によって原料が手に入らず製造が中止に追い込まれることもありましたが、1963年にはのちにヤクルトレディと呼ばれる婦人販売店システムを開始。こうしてヤクルトは日本全国、また海外でも販売されるようになりました。



婦人販売店システムによるヤクルト販売の様子

ヤクルトのあゆみ

現在においても 健康を守る基盤

代田 稔が注目した腸内細菌と人の健康との関わりは、世界で最も注目されている研究分野のひとつとなっています。

ヤクルトでは予防医学にもとづき、1954年に乳酸菌はっ酵エキスを利用したローションを発売し、1971年には化粧品分野へと本格参入しました。最近では、2019年に睡眠の質にフォーカスした機能性表示食品「Yakult 1000」(ヤクルト)1000」を発売。代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心を現在も受け継ぎ、90年以上にわたり、小さなお子さ

まから大人まで皆さまの健康で楽しい生活づくりに貢献し続けています。

現在、腸と腸内細菌のはたらきが明らかになりつつあり、「乳酸菌シロタ株」は国内の医療現場でも活躍しているほか、海外では39の国と地域で摂取されています。

「ヤクルトは安心でからだに良いから」と喜んでくださるお客さまの声を支えに、これからも私たちは皆さまに合った「健康」をお届けします。

表現を変えて 想いを受け継ぐ

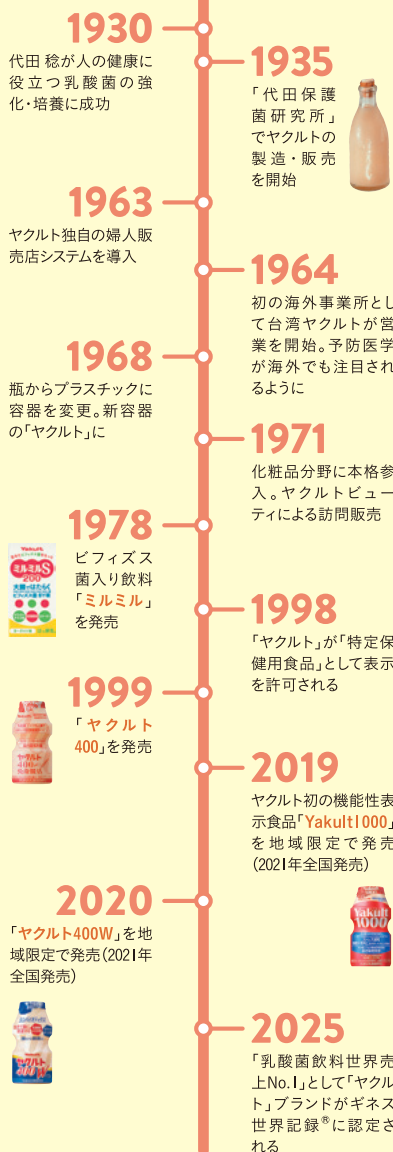
神戸ヤクルトでは、私たちだからこそ築けるお客さまとのご縁や、人

域をつなぐ力を生かし、皆さまの安心でいきいきとした暮らしをサポートしています。

地域で活動するヤクルトレディは、お届けをとおして「市民救命士」、「認知症サポーター」としても活躍。交通安全や安否確認のお声がけを行うなど、自治体や行政と連携しながら「安全・安心」な暮らしを支えるお手伝いをしています。

また、2018年からは「オレンジリボン運動」にも参加。未来を担う子どもたちの幸福を願い、バッジの装着やポスター掲示などで子どもの虐待防止を呼びかけています。さらに、地域コミュニティ、幼稚園や学校に出向いて開催している「健康セミナー」「出前授業」では、

笑顔と交流が生まれる楽しいエクササイズを加え、末永く地域の方々の健康づくりのお役にたてるよう、「皆さまから必要とされる企業」であり続ける努力を大切にしています。



幼稚園での出前授業



ヤクルトレディによる安全・安心のまちづくり

古の記憶を

語り継ぐまち

海と山が近く、神戸らしい景観が広がる須磨区。神戸港開港以降は外国人や財界人の別荘地としても親しまれました。そんな風光明媚な街で語り継がれる歴史的な出来事や史跡を紹介します。



須磨寺で10月に開催される「須磨夜音」。源平合戦の武士の供養と平和を祈る音楽法要祭で、平安時代から伝わる「一絃須磨琴」やドラムの演奏、読経、舞踊などが披露されます。入場無料。

紅葉の名所としても知られる須磨寺。朱色が美しい三重塔と紅葉のコラボレーションは一見の価値あり。



安徳宮（安徳帝内裏跡）

山陽電鉄須磨浦公園駅から徒歩約20分の場所に、源平合戦で命を落とした平清盛の孫、安徳天皇を祀る祠があります。



戦の演碑

須磨浦公園内にひっそりと立つ石碑。須磨浦一帯が源平合戦の激戦地だったことを伝えています。

こんなお店見つけた！



かりんとうまんじゅう こしあん (1個150円)

天ペロ

山陽電鉄須磨寺駅から須磨寺へ続く、須磨寺前商店街にある和菓子店。「須磨の名物を作りたい」との思いから生まれたかりんとうまんじゅうは、カリッとした食感となめらかな餡がマッチした上品な味わい。淡路島産の藻塩を使った塩サブレや、元日本料理人の店主が作る串カツランチなど、和菓子以外のメニューも人気だそう。

神戸市須磨区
須磨寺町2-6-4
11:30～16:30
(ランチLO14:00)
定休日：水曜
(須磨寺の大師縁日は営業)



神戸市の西部に位置する須磨エリアは、古くから和歌の歌枕として親しまれてきた景勝地です。松尾芭蕉や与謝蕪村が残した名句や、在原行平の恋愛模様を描いた能楽「松風」など、現代に伝わるさまざまな作品の舞台にもなっています。

須磨に伝わる歴史的な出来事の中でも有名なものが、源氏と平氏による一ノ谷の戦い。約6年にわたって全国で繰り広げられた源平合戦の中でも特に激戦だったと伝えられ、その戦いの様子は平家物語でも語られました。源氏の陣地だったという須磨寺の境内には、平敦盛と熊谷直実の一騎打ちを再現した「源平の庭」や、敦盛が愛用していた「青葉の笛」など、当時の記憶を伝える史跡や宝物が数多く残されています。他にも、沿岸部を中心に源平ゆかりの名所が点在しているので、ぜひ歴史散策へ出かけしてみてください。

源平ゆかりの史跡を訪ねて



ヤクルトセンターご紹介

今回は

和田山センター

朝来市和田山町立ノ原1

もともと門前町として栄えた和田山。旧街道沿いには今でも漆喰の土壁や、うだつをあげる立派な町家があり、あちこちでお地蔵さんに出会う味わい深い街です。

センターには20代~70代のヤクルトレディが集います。親子や孫ほど年の差があるメンバーですが、時折近くに飛来するコウノトリのおかげもあるのか、センター内に人の「和」が築かれています。

ヤクルトレディからヒトコト！

ヤクルトレディになって24年目。子どもたちは大人になり、孫も生まれて、いつしか私はおばあちゃんになっていました。毎日、通勤時の車から竹田城跡を眺めています。秋の運が良い日は、雲が城の奥まで回りこんで、雲間から竹田城が覗くという幻想的な景観に出合えます。私のお届けエリアは、但馬では五社巡りで名の知れた養父神社周辺。穏やかで心優しい地元の皆さまと笑顔と健康を分かち合いながら毎日楽しく活動しています。



紹介してくれた人 S.T さん

難読地名クイズ

兵庫県神戸市には「行幸」と書く地名があります。その読み方は次のうちどれでしょう。

- ① あんこう
- ② ぎょうこう
- ③ みゆき

神戸市須磨区に位置し、美しい海岸や松林が広がる行幸町。明治40年に皇室の別荘として建設された「武庫離宮（現：須磨離宮公園）」へ天皇陛下が行幸啓される際にこの地を通られたことから、行幸町という名前が付けられたといわれています。

季節の風物と

日本の暮らし

「亥の子(いのこ)」

西日本を中心に行われる風習「亥の子」を知っていますか。

多産なイノシシにあやかって、旧暦10月の「亥の月・亥の日・亥の刻」（現在の11月初め頃）に無病息災や子孫繁栄を祈る行事あるいはその日のことです。千支の亥に由来する行事で、当日には田の神様に収穫の感謝を捧げ土地を清める「亥の子つき」を行ったり、子どもたちが近所の家を回ってうり坊を模した「亥の子餅」をもらったりします。

また、イノシシは火を伏せる神とされるため、亥の子はこたつやストーブを出すのに縁起の良い日とされています。

兵庫県ではあまり馴染みのない風習ですが、今年は亥の子に合わせ冬支度を始めてみるのはいかがでしょうか。

